

「開かれた議会」を目指す！



議会だより

第38号

発行 伊仙町議会
〒891-8298
大島郡伊仙町伊仙1842
事務局 ☎(0997) 86-311
編集 議会広報編集委員会
印刷 スタジオ・ミスト



<写真提供：南海日日新聞社 様>

徳之島高校の空き教室を県立大島養護学校の「特別支援教室」として借り受け、今年度からスタートしました。今後は就労支援を含め、継続して誘致活動を行っていきたいものです。

(※ 12 P の、「養護学校誘致に関する署名のご協力について」をご参照ください。)

目次

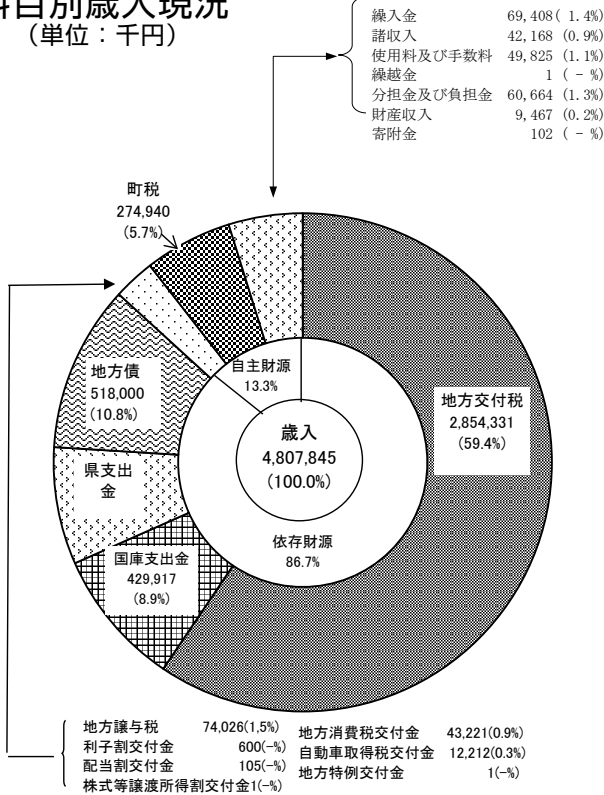
平成25年度一般会計予算他6特別会計報告関連	2P～5P
平成25年度第1回定例会一般質問通告5名登壇	6P～10P
町民の声・公明党離島振興対策本部来島	10P～11P
特別支援（養護）学校誘致に関するお願い	12P

平成25年6月議会は6月中旬以降の開会を予定しております。詳しい日程は、伊仙町議会事務局（86-3111 内線16）までお問い合わせください。

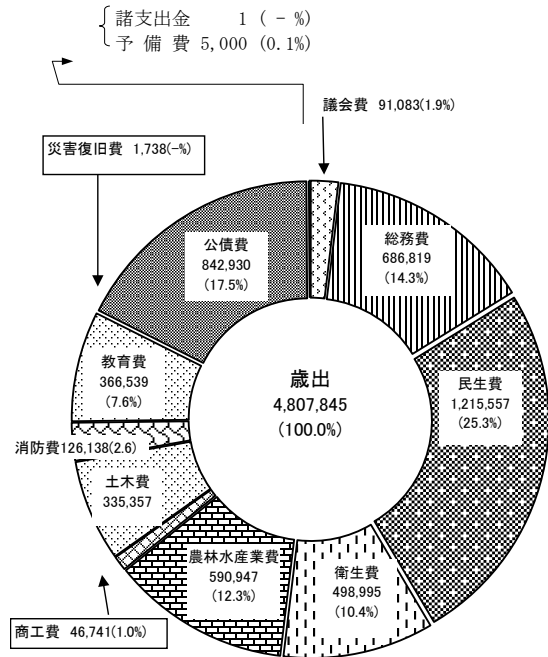
平成 25 年度一般会計予算 48 億 784 万 5 千円

(前年度と比較して 7.2% の減です。)

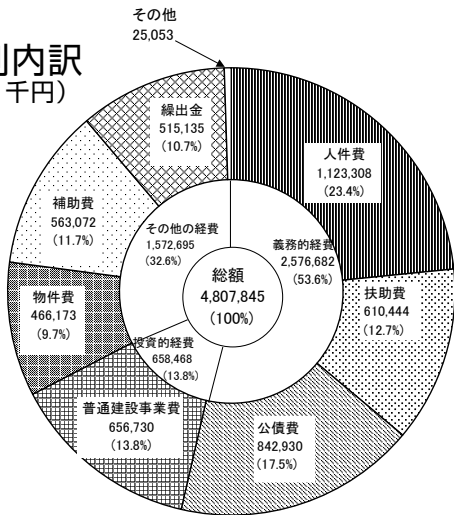
科目別歳入現況
(単位：千円)



科目別歳出現況
(単位：千円)



性質別内訳
(単位：千円)



一般会計性質別歳出内訳

(単位：千円, %)

科目	予算額	構成比	科目	予算額	構成比
1 人 件 費	1,123,308	23.4	5 補 助 費	563,072	11.7
(1) 議員委員等報酬手当	92,029	1.9	(1) 国 及 び 県	12,526	0.3
(2) 特別職の給与	23,909	0.5	(2) 一部事務組合	332,281	6.9
(3) 職員給与	682,025	14.2	(3) その他	218,265	4.5
(4) 職員共済組合負担金	190,595	4.0	6 普通建設事業費	656,730	13.8
(5) 退職手当組合負担金	133,850	2.8	(1) 補助事業費	504,884	10.5
(6) 災害補償費	900	0.0	(2) 単独事業費	62,761	1.3
(7) その他			(3) 県営事業負担金	89,085	2.0
2 物 件 費	466,173	9.7	7 災害復旧事業費	1,738	0.0
(1) 賃 金	105,065	2.2	(1) 補助事業費		
(2) 旅 費	31,614	0.7	(2) 単独事業費	1,738	0.0
(3) 交 際 費	800	0.0	8 公 債 費	842,930	17.5
(4) 需 用 費	101,142	2.1	(1) 元利償還金	840,930	17.5
(5) 役 務 費	28,606	0.6	(2) 一時借入金利子	2,000	0.0
(6) 備品購入費	20,780	0.4	9 積 立 金	160	0.0
(7) その他	178,166	3.7	10 投資及び出資金	1,440	0.0
3 維持補修費	16,715	0.3	11 貸 付 金	5,000	0.1
4 扶 助 費	610,444	12.7	12 繰 出 金	515,135	10.7
			13 予 備 費	5,000	0.1
			歳 出 合 計	4,807,845	100.0

平成 25 年度各特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険特別会計予算	1,193,510
介護保険特別会計予算	937,616
後期高齢者医療特別会計予算	169,536
徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	109,923
簡易水道特別会計予算	278,742
上水道事業会計予算	93,594
合 計	2,782,921

■平成25年度伊仙町予算審査特別委員会委員長報告

当、予算審査特別委員会に付託されました、平成25年度伊仙町一般会計予算及び6特別会計予算について、去る3月14日、15日に予算審査特別委員会を開きました。

その審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

審査にあたっては、各会計予算の概要について、担当課長より説明を受けた後、委員から質疑が行われ、審査を行いました。

それを集約すると、

1. 町民全体に効果が出るような事業を取り入れるべきである。
2. 徳之島空港利用活性化事業負担金として、多額の負担をしており、駐車場等の利便性を向上させるよう働きかけるべきである。
3. 過疎債のソフト事業を活用して保育料無料化を実施する町もあるが、伊仙町でも実施できないか。また、へき地保育所の保育士の研修等も実施すべきである。
4. 直売所「百菜」の運営貸付金も来年度あたりは、見直すべきである。
5. 図書館の整備もできないか。

との意見が出されました。

議案第26号 平成25年度伊仙町一般会計当初予算につきましては、美島委員他3委員から修正案が提出されました。提出された修正案は、特産品製造販売プロジェクト事業費に係る歳入予算及び歳出予算を削除するものであります。提出者からの説明を受けた後、質疑・討論を行い、採決の結果修正案に関しては、賛成少数で否決、それを受けての原案採決の結果は、賛成多数で原案可決すべきものと決定しました。

また、特別会計は、

議案第27号 平成25年度伊仙町国民健康保険特別会計予算

議案第28号 平成25年度伊仙町介護保険特別会計予算

議案第29号 平成25年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算

議案第30号 平成25年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算

議案第31号 平成25年度伊仙町簡易水道特別会計予算

議案第32号 平成25年度伊仙町上水道事業会計予算の6件であります。それぞれ起立採決の結果、全議案、賛成多数で原案のとおり、可決されました。

以上で委員長報告を終わります。

平成25年第1回定例議会議決結果一覧（会期3/8～30）

番号	議案等	採決結果
議第5	案号 伊仙町指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の制定	原案可決
議第6	案号 伊仙町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定	原案可決
議第7	案号 伊仙町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例の制定	原案可決
議第8	案号 伊仙町町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定	原案可決
議第9	案号 伊仙町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定	原案可決
議第10	案号 伊仙町準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定	原案可決
議第11	案号 伊仙町町営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制定	原案可決
議第12	案号 伊仙町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定	原案可決
議第13	案号 伊仙町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議第14	案号 伊仙町職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議第15	案号 伊仙町技能・労務職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議第16	案号 伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議第17	案号 伊仙町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決
議第18	案号 伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議第19	案号 鹿兒島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合規約の変更	原案可決
議第20	案号 平成23年度奄美自治会館管理組合歳入歳出決算認定	原案可決
議第21	案号 平成24年度伊仙町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議第22	案号 平成24年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第23	案号 平成24年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議第24	案号 平成24年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第25	案号 平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議第26	案号 平成25年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議第27	案号 平成25年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議第28	案号 平成25年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議第29	案号 平成25年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議第30	案号 平成25年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議第31	案号 平成25年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議第32	案号 平成25年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
	以下余白	

平成 25 年 第 1 回 臨時議会議決結果一覧（会期 1/21）

番 号	議 案 等	採決結果
議第 1 案号	徳之島交流ひろば「ほーらい館」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議第 2 案号	平成 24 年度伊仙町一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決
議第 3 案号	平成 24 年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 4 案号	平成 24 年度社会資本整備総合交付金 河地団地建築本体工事請負契約	可 決

平成 25 年 第 1 回 定例会陳情・発議結果の一覧（会期 3/8～30）

番 号	議 案 等	採決結果
陳第 1 情号	特産品製造販売プロジェクト事業誘致に関する陳情書（経済建設常任委員会付託）	採 択
陳第 2 情号	町営農産物加工施設建設場所についての陳情書（経済建設常任委員会付託）	採 択
発第 1 議号	伊仙町議会委員会条例の一部改正について	原案可決
発第 2 議号	伊仙町議会会議規則の一部改正について	原案可決
	以下余白	

土壌分析の受付をしています（経済課）



経済課では最新型の土壌分析機を導入し、平成 23 年度より皆様の土壌の分析を受け付けています。今年はバレイシヨの病気が蔓延し、この病気が蔓延したひとつの原因として、土壌の性質が挙げられます。特に昨年は、度重なる台風により、土壌改良した後も表土が流されて下層の土が露出するなどの悪条件が起因し、さとうきびや馬鈴薯の収穫に悪影響を及ぼしたと考えられます。このことから、経済課では pH や電気伝導度（EC）だ

けではなく、微量元素まで測定の上、皆様へ合同の説明会を年数回定期的に開催することにしました。

ご自身の畑の土壌が、現在どのような状態なのか、その解析を受けて本当に必要な肥料がどれだけなのか、それらを知ることによって過剰な施肥を避け、経費の削減にもつながります。

作付け前の土壌分析は人の健康診断のようなものです。定期的に分析を行い、皆様の肥培管理が作物にとって合っているのかどうか、ご自身で判断する材料として、ぜひ経済課にご持参の上、受付をしてください。

受付日：常時

説明会：年数回

担当：経済課 源（みなもと）

連絡先：86-3111（内線 35）

無 料！

平成25年 第1回定例会 (3月)

一般質問



琉 議員

問

農業政策のTPP問題について、安倍総理が米国オバマ大統領との首脳会議で交渉参加を表明しましたが、農業立町である伊仙町にも大きな影響と関心が注目されますが、大久保町長は、どのように考えるのか、又町民の考えに対するアンケート等は行っているのか。

答

まず、TPPに関しては、一貫して反対を貫いております。聖域なき関税撤廃として交渉する中で、例外品目にサトウキビがなるか交渉の状況を見ていかなければなりません。今後TPPに関係なく農業所得を上げる為に農業の転換とか、新

たな6次産業化に向けた政策や、土地を最大限に活用する農業に変っていく時代が来たと思います。アンケートにしましては、まだ致しておりませんが、今後区長会や農家の方々とも農業問題について議論していく中で、アンケートも実施していきたいと考えています。

問

町の進める6次産業について、特産品製造販売プロジェクト事業を計画していますが、事業成功に向けて、これまでの取り組みと今後の方針は具体的にどうするのか。

答

伊仙町と三重県のファームとの連携の中での事業(特産品製造販売プロジェクト事業)で、農水省、国交省も、予算編成が実現できました。これまでの経緯は、平

成22年9月にモクモク事業の打診を行い同12月伊仙町での事業計画を立て、平成24年6月民間主体となった計画書を県と協議をして進めております。内容については、特産品のサトウキビから黒糖、スイーツ、シロップ、キビジュース等その他の特産品の製品加工販売を計画していきます。また今後の方針として、平成28年度に世界自然遺産登録に向けた、徳之島への来島者に対する受入れ先として、観光施設としても踏まえながら、新しい雇用が生まれたり、大きな展望を期待しながら事業を進めてまいります。

問

コンクリートから人へと、民主党時代に政策転換をし、無駄を省くという大きな成果は、大変評価するところでありますが、経済不況は一段と進む一方、経済不況から脱出する為に、自民党新政権の経済成長戦略に公共工事の再導入がされております。町は道路、土地改良整備、また学校等の各種施設の計画はどの様に考えているのか。

答

これからは、防災、減災が重要になってきます。国家強靱化政策の中で道路事業も各事業も補修という予算が出て、耐震化の公共事業等の流れに大きく向かっていくと考えております。

問

全天候型施設で計画の徳之島なくさみ館はオープン以来、雨天時の行事について、町民から全天候型ではないとの声が多く聞かれますが、施設の設計に問題があったのか今後どの様な対策を講じていくのか。



先日のオープン以来、雨天時の行事について、町民から全天候型ではないとの声が多く聞かれますが、施設の設計に問題があったのか今後どの様な対策を講じていくのか。

答

施設の設計に関して、国県から頂いた事業費を最大限に活用した結果で、完全に風雨を遮るには、交付決定された事業額では足

問

伊仙町監査委員監査規程第7条第9項に決算審査について規程されておりませんが、監査委員が普通地方公共団体の長を抜きにして直接議会の認定に付されると解釈されるが説明を求めます。

答

監査規程の決算審査についてその中の法第233条第3項これは間違いじゃないかという指摘ですが、ご指摘のとおりでございます。法第233条第2項



杉並 議員

りないので現在の仕様となっておりますが、今後の対策として平成26年度の次期奄振に申請して参りたいと考えております。その他にも義名山総合整備事業、世界自然遺産登録関係、食肉センター関係、火葬場、ケーブルテレビ等の質問も行っていきます。

がベストだと考えられます。この監査規程は、昭和56年制定され、改正が平成4年7月に行われておりますが、今まで放置されたことについてこの場でおわびを申し上げます。事務局と協議し、早速に訂正いたします。

問 監査執行上の除外
地方自治法第199

条の2「監査委員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子、孫、若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事件または自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある件については監査はできない」とあるが、全国に例のない違法な状態が続いているが、町長の責任はないか。どのように責任を取るつもりか伺う。

答 この第199条の2

項に關しましては、執行部そして、監査委員の配慮が足りなかつたことを富監査委員の方からおわびの言葉がありました。町長といたしましても同様でございます。今、事務局からも県にも指導を受けた結果、第199条2

項に抵触したというご指摘です。ので町長として議会の方々におわびを申し上げたいと思ひます。

問 肉用牛及び高齢者等
肉用牛基金運用監査

について貸付申請書の不備や借受者の飼養能力の適否等について実施されているか伺う。



基幹産業のなかで、唯一市場相場が安定している畜産分野。今後の肉用牛飼養管理や優良素牛を確保することが、基幹産業の安定化につながる。(写真：徳之島中央家畜市場)

答 貸付申込書に住所が

なかつたり経営計画書が明確に記載もれや印鑑証明書が明瞭に記されもれや印鑑証明書の添付もれ等ございましたが、現在は納税状況の添付又、現地の調査を実施していただきます。

問 地方自治法第199
条第12項に、職務権

限があり、監査の結果に関する報告があつた場合、町長は監査の結果に基づき監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知するものとする。あり、町長から監査委員への通知はあつたのかなかつたのか。

答 その旨を監査委員に

措置するものとする。と措置を講じた時には、通知するものと確かにありますけれども、通知はあがつてきておりません。

問 中长期計画について

伺う。本町の一般会計並びにほーらい館特別会計が組まれますと、ほーらい館の指定管理者制度への移行はしないというお考えなのか。毎年赤字経営をしていることに対して町長はよしとしなければならぬのか伺う。

答 費用対効果に關し

ましては、確かに。おっしゃる通りでございます。ほーらい館に1日平均450人ほど来ていますので、500人に平均来館者数が来れば利益が出ると思いま

す。入館料は、4月から引き上げてまいります。健全経営に向けてあらゆる努力をほーらい館会員の方々とやっております。ことは十分可能だと思っております。



上木 議員

問 徳之島用水ダムの地
元負担金の元金6億

円を平成26年と27年度に一括償還する事になっているが履行できるのか。

答 (町長) この徳之島用

水負担金については、27年と28年度に約6億円を一括償還することで協議決定しております。去年の台風災害で1億5千万円程度基金を取り崩し基金残高は、3億5千万円であります。25年度から27年までの3年間で基金を2億5千万円積み立てなければなりません。それは実現しなければなりません。それは、今日この場に於

いて私の新たな決意として町民の方々に約束をしたいと思っております。

(総務課長) 先ほどの町長答弁のように、徳之島用水町負担金1期分が3億3524万円、2期分が2億6528万6000円となっております。一括償還に組み入れていきたいと思っております。

問 平成24年度から5年
間「短期重点期間」

と位置付け、財政緊急事態に対処する具体策を断行するよう提言したが、実施決行されているのか。経常収支比率100%で基金は枯渇。実質収支は、8700万円の赤字額が累積する財政破綻の予測となっている。伊仙町の主要2税目、町民税と固定資産税の標準徴収額2億2千万円で赤字額8700万を除くと39%となる。20%以上になると自力での財政再建はおぼつかないとされている。どう対処する心算か。

答 本町の財政は、非常

に厳しい局面にあることを改めて認識し、職員一

一人が創意工夫と経営感覚を発揮し、常にコスト意識を持ち、事業の緊急性、必要性を精査し、歳出削減やさまざまなの方策を検討実施し、全庁職員一丸となって取り組まなければならぬと考えています。又策定されている中長期財政計画も最っと内容のあるものに見直し、実行し成果を上げたいと思います。

問 品物を出すだけの出荷組合員であるのか。出資配当金を受ける百菜の経営責任を負う役割分担、分掌の義務と権利について組合員と役職員の責任体制が曖昧模糊したまま、「棚卸し、決算総会」も開催されないまま杜撰な運営が4年間も続いている。町は莫大な借金で施設と器具備品を整備、無償貸与して、さらに運営資金500万円も貸与し、補助金・補助事業も投入している。こんな不明朗な会計処理で良いのかと関係者幹部の間でも疑念が起きている。町有財産の管理責任者である町長に見解を求めます。

答 24年度決算総会は、

25年の6月頃にしっかりとやっていくと総会席上で組合長の決意表明もありましたので、百菜を伸ばして農家所得の向上につなげてまいります。

問 歴史民俗資料館について、突如移転したような感じでありますが、事情いきさつについて説明を求めます。



旧徳之島農業高校跡地に移転した歴史民俗資料館。資料展示物の管理状況並びに施設の機能性を最大限活かし、新たな町の文化施設として期待される。(写真：伊仙町歴史民俗資料館 旧徳之島農業高校本校舎内1階)

答 旧歴史民俗資料館は、長年にわたる取集資料の増加に伴い、収蔵室や閲覧室の不足、観光客用の大型バスが乗り入れできないなどの課題がありました。このような状況の中、旧農業高校跡地の校舎を含めた敷地の一部を公的機関である伊仙町が有効活用するのであれば、無償譲渡が

可能であるとの方針のもと、教育委員会が利用計画を策定し、農業高校跡地利用検討会において検討して、昨年8月に一部移転し、伊仙町歴史民俗資料館として一般に開放しているところです。又、旧農業高校跡地が鹿児島県より現在無償貸し付けの状態であるため旧歴史民俗資料館には現在も多数の資料が収蔵されています。ほぼ旧農業高校跡地が町の方に無償譲渡された後に資料の移転等を行い、旧歴史民俗資料館の今後の利用計画を検討していきたいと考えております。



美島 議員

問 施政方針について、「株式会社伊仙町」といっているが、リーダー・社長としての目的は何か。

答 伊仙町は、大変多難な時期にある。財政問題、監査問題などの指摘に

対し、最優良企業にしたい。公務員は公僕であるが、公務員がいろんな営利目的でやったらいけないという表現は、詭弁であります。「株式会社伊仙町」という企業がほとんど伸びていくためにも、この表現が最も適当であると判断している。

問 「株式会社伊仙町」の町長として、11年前町長立候補の決意表明で3つあげています。①町民全体の夢につながる政策が何一つ見当たらず、やる気が欠如している。②職員採用に多額の現金のやりとりがあるとの噂が町民に不快感を与えている。③目に余る特定業者との癒着関係があると言われたが、このことが私は今気になっていますが、町長は権力の下、私物化していないか。この件に関連して責任があると思うが、今現在町長は、このことをどう認識しているのか。

答 「株式会社伊仙町」の会社にはいろんな問題点があった場合は、町長の責任であることは間違いございません。そのことは、私は強く

く自覚しております。この権力というものは、これは最大限に有効に使っていかねばなりません。私は個人のエゴや利益のために一切権力は行使しておりません。

問 徳之島交流ひろば「ほーらい館」の指定管理者公募を断念した理由は。



概要を直し「ほーらい館」の公募したが、公募の仕切りがなくなり、公募に応じた指定管理者がなかったため、指定管理者を公募したことがなかった徳之島交流ひろば「ほーらい館」。

答 3業者1個人から公募がありました。書類の不備、管理運営経費の件、町の負担額5千5百万円の提示等があり、総合的な判断で地域密着型に適していけないと判断しました。5月中旬より7月に公募を募ってまいります。

問 子育て支援で出生数が増えていると言っているが、一方で母子家庭が増えているのか。

答 母子、父子家庭の合計は、平成17年が48世帯でしたが、20年度からは一気上がり、23年度は76世帯、平成17年度と平成24年度を比較すると父子家庭が多くなっている。

問 農業振興について、農業生産額が50億円の達成のための支援策はあるか。

答 糖業においては過去25年度にさとうきび等安定生産体制緊急確立事業が、国の予算でありますので、メリクローン苗の圃場、病虫害対策等を実施し、夏植えや春植えの推進をしております。園芸振興においては、土壌改良等を行ってまいります。補助事業でのハウスが66棟ありますが、経済力の乏しいハウス等もありますので、農家と議論をしながら有効活用してまいります。畜産振興において

は、優良素牛の推進、基金を活用して牛の導入を進めてまいります。

問 水道料金徴収に関連した町職員措置請求に基づく催告について、どう受け止めているのか。

答 水道メーター未検針による、水道使用量の賦課徴収については、今後も最大の努力をしております。メーターの設置については、催告を重く受け止めて、最善を尽くしてまいります。不納欠損については、平成25年9月31日までに判断し、決定していきたいと考えております。

問 徳之島愛ランド食肉加工センターの稼働していない理由の説明を求めらる。

中国製品のため、機材の故障が起きている。専門家が来られて、4月からは稼働できる状況になっていいると思えます。早急に稼働できるようにしていくことが、我々の責任だと思っております。



明石 議員

(お見舞い)

昨年来の台風被害、さとうきびの減少、製糖期間短縮等、馬鈴薯の価格低迷が続き、農家の皆様にとって、大変厳しい年になりそうです。ここに農家の皆様へ慎んでお見舞い申し上げます。

問 伊仙町水道課に是正催告、平成25年3月5日付、南海日日新聞に大きく取り上げられました。町長はこれを認めるのか。

答 伊仙町職員措置請求については、この催告があったことに関しては、認めます。いつごろかについては記憶が、去年の7月前後だったと思います。

問 新聞報道を認めて頂きました。最初に認識したのは去年の7月頃と

言っているが、その時はすでに平成23年9月29日付決裁で、具体的指導を求めている。が指示はなかったとも言っている。もっと早く適切な対応があれば、このようなことはならなかったんじゃないか。長期政権で気の緩みもでたんじゃないか。一度タガが緩むとなかなか占めるのは難しいが、今後の職員研修等のどのように対応するのか。

答 伊仙町職員の資質向上等、これは長期政権のなかで緩みが出てきたのではなく、以前から伊仙町職員全体が、こういう気の緩みがあったと私は理解しています。しかし、議員が話すような油断、心の隙はあることは確かだったと思います。我々はもう一回自覚しなければならぬわけです。私は、職員に自覚が足りなかったことや、責任感もなかったことは認めます。それは町長の指導力がなかったという点も反省し、忸怩たる思いであります。この問題に関しては、今のようないとも含めて、皆さんとともに良い形で解決できるようにいろんな提言を頂きたいと思っ

ております。

問 事実を認め反省するのは大事なことであります。私も一町民として過去を反省し、今後もそれぞれの立場で提言したり、議論を重ねて意見を言っていきたいと思えます。職員の対応については、意見がなかったが、職務怠慢が指摘されていますが、どのようにするのか。

答 職員の職務怠慢ということは、責任感がなかったという事なので、適正に対応していきたいと思えます。

問 平成24年3月25日、徳之島食肉センター落成記念式典まで終えた同施設が、未だに運用できないのはなぜか。稼働の見通しについて問う。また、補助金返納などの心配はないのか。

答 詳細な経過については、私は今詳しく述べることができませんが、3カ所保健所の基準を満たしていないことが判明しました。補正予算で対応しましたが、

問 食肉センターの件については、最初の予算が少なかつたから、このような結果になったというのはいきなり過ぎない。できるということ、事業を始めたわけですね。3月の広域議会ですら、3月の広域議会ですら、広域連合からの予算要求はあったのか。



徳之島食肉加工センター。島の食材の拠点として、安心と安全を兼ね備えた施設になることが望まれる。

また新たな問題点がでてきました。それがクリアできれば稼働が可能との事です。会計検査等から指摘がある可能性については、そのように指摘があれば3町で対応しなければなりません。そうならないような形で今後運営していくように努力して行かなければいけないと思っております。

～「議会中継」インターネットで随時配信中～

アクセス方法
伊仙町公式 HP をアクセス→伊仙町公式 HP 内の左にあるアイコンをアクセスすれば視聴可能です。アクセス後 USTREAM のサイトへ移行します。

答 広域連合からの予算要求はありません。未だに解決する見通しすら、描けません。各町の広報紙等でかかる問題を島民にも説明をしてほしいと思います。水道課の問題、広域連合食肉センターの問題、早急に解決する施策、対応を取っていただくことを強く要望を致します。

「町民の声 (第2号)」

奄美大島信用金庫いせん支店
支店長 喜納 進 さん (伊仙町喜念出身)

◎自己紹介および地元伊仙に着任して感じた事

「うりいたがうかげし」 昨年の 10 月 29 日に奄美大島信用金庫の 16 番 目の店舗として伊仙町役場の隣に新設オープンいたしました、喜念出身の いせん支店支店長の喜納 進です。

支店開設にあたり伊仙町町長をはじめとする町民ならびに役場・町議会・商工会等の関係各位のご支援、御協力により無事オープンできました事に 厚く御礼申し上げるとともに

「最高のサービスは、最高の笑顔である (face to face)」をモットーに「もてなしの心で」金融サービスの向上に取り組んでいるところです。

伊仙町住民として生活していく中で感じている事は、「健康・長寿と子宝の町」「人情豊かなもてなしの町」の実現に向け、町の振興に官民一体となって取り組む姿がひしひしと感じられます。

◎伊仙町を PR する為に必要な事

・町民本位の行政をととして町民満足度を高める事こそが一番の PR 方法だと思います。

◎伊仙町議会に対しての要望等

・議会制民主主義を十分に発揮し、伊仙町の未来予想図を「町民の大多数の意見を集約」して完成させる事こそが町政の発展に繋がると思います。

◎今後の伊仙町に期待する事。

「ほーらい館」「なくさみ館」等の施設が相次いで建築されていますが、点と点ではなく線で結び、円になるように「町民の利用頻度向上に向けた」取組みに期待します。

◎その他

伊仙町に生まれ、伊仙町で育ち、伊仙町で仕事ができる機会に恵まれた事に感謝の念に堪えません。当金庫の経営理念である、「地域との運命共同体」の精神にもとづき町政の発展を図るべく町民の皆様方と心を合わせ、手をつなぎ郷土の活性化・再生のために結 (ゆい) の心で邁進してゆく所存です。今後ともご支援・ご鞭撻の方よろしくお願ひいたします。



公

明党離島振興対策本部一行来島



写真(左から)伊藤 一弘 副議長、遠山 清彦 衆議院議員、榊山 誠 経済課長、持富 八郎 県議、常 隆之 議長
※基幹産業に関する主要要望活動を行いました。

平成25年5月1日～2日にかけて、公明党離島振興対策本部一行(本部長 遠山 清彦 衆議院議員 ※写真左から2番目)が来島し、徳之島における諸問題について、現地視察を含めて意見交換がなされました。その中で、常 隆之議長・伊藤 一弘副議長より、喫緊の課題のサトウキビ生産をはじめとする基幹産業の安定化や、有害鳥獣被害による作物の保護策など、何点か要望を致しました。

とりわけ、有害鳥獣における農作物の被害は全県的にみても著しく、この徳之島においても例外ではなく、他県の取り組みや農林水産省における主な補助事業が活用できないか、今後とも国や県を通じ連携して検討していくことを確認しました。

町民の皆様におかれましても、あらゆる農作物の被害は死活問題でもあることから、島の主要産業を守るためにも闊達なご意見やご要望を議員各位へお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

全

国町村議会議長会 鹿児島県町村議会議長会自治功労表彰



美島 盛秀 議員(4期目) 受賞

先日行われた平成25年度第1回伊仙町議定会定例会において、平成24年度全国町村議会議長会並びに鹿児島県町村議会議長会における自治功労表彰伝達式が伊仙町議会本会議場において行われました。今回、町村議会議員として15年以上在職し功労のあった議員が受賞対象であり、美島 盛秀 議員(伊仙町阿権)が表彰されました。

美島議員におかれましては、平成8年9月13日の任期から今日まで連続して町村議会議員としてあらゆる重責を担い、町内外において活躍されてきました。今後も、伊仙町議会の一員として、リーダーシップを発揮されることを期待して、町民の皆様へのご報告にかえさせていただきます。

徳之島に特別支援（養護）学校設置を求める 署名活動のご協力依頼について



これまでも何度か本誌で取り上げました、「鹿児島県立徳之島農業高校跡地に大島養護学校分校の設置について（伊仙町議会提案）」の要望について、今年4月に、徳之島高校の空き教室を借り受けて「訪問教育」という趣旨の「特別支援教室」が開始されることとなりました。この「特別支援教室」が始まったことにより、障がいがあるお子さんと暮らしていらっしゃる保護者の皆様方におかれましては、生まれ育った環境で、なおかつ一緒に生活しながら学校へ通うための窓がやっと開けたことと思います。

しかしながら、空き教室を借りての訪問教育にも限界があり、専門性を持った教職員の確保や施設の充実、最終的には就労に至るまでの道のりがあるため、楽観視できる状況ではありません。つきましては、現在そういった障がいがあるお子さんがいらっしゃる保護者の皆さんが中心となり設立された「徳之島障がい児親の会」が以下のポスターと署名用紙を持って「徳之島に特別支援（養護）学校設置を求める」署名活動を行っておりますので、町内外をはじめ全国の皆様のご理解とご協力をお願い致します。なお、この活動における署名用紙及びポスター（PDF）を伊仙町の公式ホームページにてダウンロードできるように致しますので、併せてご利用頂きますようお願い致します。

議会のうごき

- 平成25年1月
- 7日 消防出初式 伊仙中学校（議員全員）
- 5日 成人式 ほーらい館（議員全員）
- 6日 平成25年徳南会新年会鹿児島市（議長）
- 7日 平成25年県内観光関係者新年互礼会鹿児島市（議長）
- 16日 平成25年第1回伊仙町臨時会告示
- 21日 平成25年第1回伊仙町臨時会議会本会議場（議員全員）
- 29日 鹿児島県町村議会議長会理事會県町村議会議長会（議長）
- 30日 奄美群島振興開発総合調査に係る市町村長・市町村議会議長説明会鹿児島市（議長）
- 平成25年2月
- 5日 徳之島三カ町議会議員連絡協議会役員会 天城町役場正・副議長、2常任委員長、（事務局）
- 12日 第64回定期総会鹿児島市議長、（事務局長）
- 19日 第1回鹿児島県市町村総合事務組合議定例会鹿児島市（議長）
- 21日 平成24年度徳之島三カ町議会議員大会天城町役場（議員全員、事務局）
- 22日 徳之島地区消防組合議会第1回臨時会議会本会議場（消防組合議員、事務局）
- 24日 ダイエットアイランドシンポジウムほーらい館（議員全員）
- 25日 徳之島療育研究会との意見交換会議会委員会室（議長、事務局）
- 27日 市町村議会議長会、市町村長合同会奄美市（議長）
- 28日 経済建設常任委員会議会委員会室（経済建設常任委員、事務局）
- 平成25年第1回定例会告示
- 平成25年3月
- 4日 徳之島地区消防組合議会第1回定例会議会本会議場（消防組合議員、事務局）
- 8日 平成25年第1回定例会議会本会議場（議員全員）
- 22日 町内各小学校卒業式町内小学校（議員全員）
- 27日 モクモク手づくりファームとの意見交換会（議会委員会室議員全員、事務局）
- 28日 自衛隊ヘリコプター殉職者慰霊祭徳之島町（議長）

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承ください。

編集後記

町民の皆様並びに広報「議会だより」をご覧の皆様こんにちは。今回編集後記を担当します琉理人です。官公庁では、年度も変わり平成25年度がスタートし、早くも2カ月が経過しようとしております。この清々しい年度にふさわしく議会だよりの表紙も、読者の皆様のお気持ちも晴れやかになるようにと、明るい表紙に変更させて頂きましたが、皆さんの感想はいかがでしたか？さて、新年度が始まると共に、私たち議会議員においても来年の任期満了まで、しっかりと大久保町政への監視とチェック機能を如何なく発揮することが使命であります。株式会社「伊仙町」と大久保町長が唱える以上は、是は、町政発展の為に議論を交わし、町民の皆様からリーダー感を持っていきたくと考えます。最後に、この議会だよりをご覧の際には、梅雨に入り湿度が高く、大変過ぎにくい日を送られていると思いますが、今後も皆様におかれましては、お身体をご自愛頂き、議会に対しては叱咤激励を賜りますようお願いいたします。編集後記といたします。

委員長 琉理人

議会広報編集委員会

- 委員長 琉理人
- 副委員長 清水喜男
- 委員 永岡 良一
- 委員 前 徹志
- 委員 伊藤 一弘